

# 裁判員裁判の実施状況

## ～経験者の声もお知らせします～



平成21年5月21日のスタートから9年が経過する『裁判員制度』について、平成29年12月末までの実施状況や裁判員経験者の声（アンケート結果）をお知らせします。

### ★その1 裁判員裁判に関するデータ（※全て制度開始～平成29年12月末までの数値）

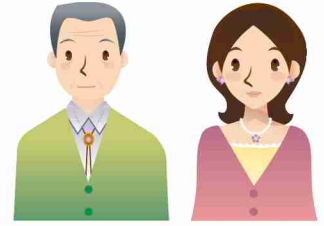
●裁判員に選ばれた方は、60,502人！

内訳は以下のとおり

- ・性別 男性55.0%，女性43.4%
- ・年齢 20代13.7%，30代20.8%，40代23.5%，50代19.8%，60代18.4%，70歳以上2.0%
- ・職業 お勤め56.0%，パート・アルバイト15.3%，専業主婦・主夫9.4%，自営・自由業6.9%，学生，無職，その他計10.2%

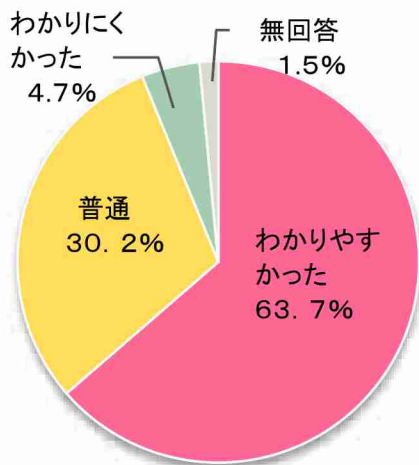
●裁判員裁判における判決人員は、10,514人

●裁判員として、裁判手続に参加する日数の平均は、約5.7日  
判決の内容を決めるための評議の時間の平均は、約10.6時間



### ★その2 審理ってわかりやすい？専門知識がなくても理解できる？

→経験者の63.7%の方が、法廷での審理は「わかりやすかった」と回答しています。



裁判員にもわかりやすいように、話し方、資料作成など、工夫されていると感じました。

（40代，男性，お勤め）

もっと専門的で難しいかと思っていましたが、とってもわかりやすかったです。

（30代，女性，お勤め）



### ★その3 充実した評議ができる？

→経験者の73.7%の方が、評議で「十分に議論ができた」と回答しています。

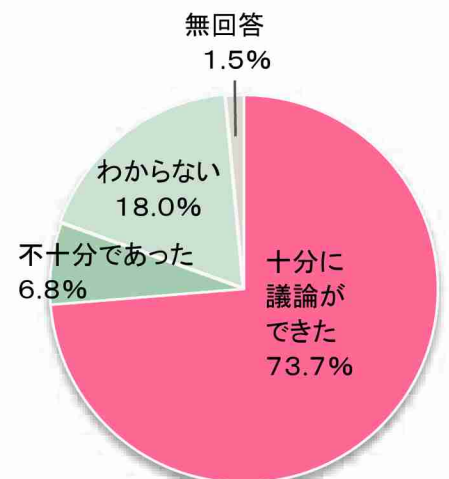
活発な意見が出るように楽しく和やかな雰囲気作りに努めてくださったと思う。進行や説明もホワイトボードやモニターを使用し、必要な情報が適時正確に理解し、共有できるよう配慮されていた。

（40代，女性，自営・自由業）



十分な説明の後で考える時間があり、全員の意見を聞いていただき、消化不良がないよい評議だったと思います。

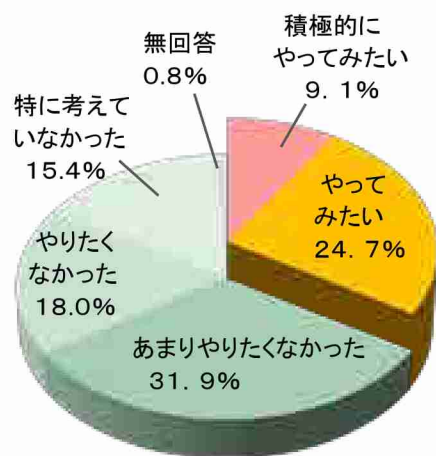
（40代，男性，お勤め）



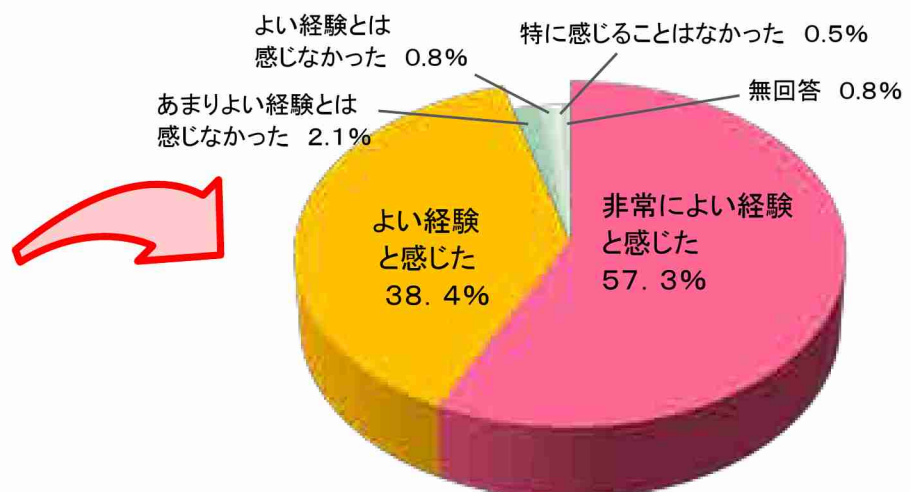
## ★その4 裁判員に選ばれる前と後での気持ちの変化は？

→選ばれる前に「(積極的に) やってみたい」と思っていた方は33.8%でした。しかし、参加後には95.7%の方が「(非常に) よい経験」と感じられており、充実感をもって職務に従事していただけたことがうかがえます。

(裁判員に選ばれる前の気持ち)



(裁判員として裁判に参加した感想)



## ★その5 実際に裁判員を経験された方をご紹介します！

会社の上司からも「よい経験になる」とバックアップを頂き、普段ではできない経験をすることができました。  
(50代, 男性, お勤め)

最初はどんなことを話せばいいのかがわからず身構えてしまったが、説明を聞くうちに自分の考えを発言することができた。質問に対し、わかりやすく説明していただきとてもありがたかった。  
(30代, 男性, お勤め)

あらゆる点でよい経験になりました。ニュースで事件を目にすると、考え方が今までと違い、社会生活をする上で新たな視点が生まれたと思います。  
(40代, 女性, お勤め)

裁判が少し身近に感じられた。今後家族・知人が裁判員に選ばれたとき、相談にのることができる。  
(30代, 女性, 専業主婦)

実際の裁判に参加して、生の空気に触れ、自分の判断が反映されることは貴重で有意義なものに感じました。  
(20代, 男性, パート・アルバイト)

わかりやすい説明で安心しました。法律のことはあまりわからないのですが、不安なく裁判員を続ける事ができました。  
(60代, 女性, パート・アルバイト)



★より詳しくお知りになりたい方は、裁判員制度ウェブサイト (<http://www.saibanin.courts.go.jp/>) へ裁判員制度に関する統計や動画、パンフレット、キッズページなど、いろいろな情報を発信しています。

注) 本記事に掲載されている各データの比率は、小数点第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。